



自分の好きなテーマで文章を書き上げます。文章力だけではなくモノの見方や考え方を鍛えたい方へ

“次”につながるライター術

---書くことを通して、モノの見方や考え方が変わる---

～エッセイからインタビュー、ルポ、批評文まで～
自分の強みを明確にし、文章で表現する方法を学ぶ

土曜クラス ▶ 10月28日（土）開講

▶土曜クラス 16：00～18:00 全10回

講義日：10/28、11/11,25、12/9、2018年1/20、2/3,17、3/3,17,31



これから始めたいという人にとっては、仕事に繋がる実力を得られる場に。
いま、なんらかのかたちで「書くこと」に携わっている人にとっては、次のステップの摸策に。
実際の現場で活躍している書き手が直接指導します。
あなたの可能性を広げましょう。それは一生の財産になります。

こんな方に オススメです

- ▶ エッセイやノンフィクションジャンルの文章の書き方を知りたい方
- ▶ 作家またはライターデビューしたい方
- ▶ ライターとして専門分野を持ちたい方
- ▶ 著書を出すために文章を書き上げたい方
- ▶ 会社の仕事や子育てと書く仕事を両立させたい方
- ▶ 好きなテーマで自由に書きたい方

習得 できます！

- ▶ 文章を書くための思考の掘り下げ方
- ▶ 書きたいことを書けるようになる方法
- ▶ エッセイの書き方
- ▶ ノンフィクションや評論文の書き方
- ▶ 文章の構成法
- ▶ 企画の立て方
- ▶ 仕事の始め方／広げ方／売り込みの仕方

受講料

〔一括〕
合計 92,000 円 (税込)
入学金 10,000 円
授業料 62,000 円
添削料 15,000 円
資料代 5,000 円

- ★一括の場合はカード支払い可。
(VISAかMASTERのみ)
- ★教育ローンもご利用いただけます。
- ★当校や姉妹校の修了生は入学金不要。

<受講料振込先>
みずほ銀行 渋谷支店 普通 3112431 ヘンシュウノガッコウ

<申込方法>
編集の学校のサイトから web 申し込み、
またはメールでお知らせください。

<http://www.editorschool.jp>
info@editorschool.jp

“次”につながるライター術 【カリキュラム（全10回）】

土曜日 16:00～18:00 ▶開講日 10/28

前半（第1回～5回）

自分の感じたことや思い、考えを文章に表現する

後半（第6回～10回）

書きたいことをまとめた分量の文章に

▶第1回 10/28 『ライターになるための「思考法」講座』

“文章とはナニか”を考え、モノの考え方や書くための思考の掘り下げ方について講義。“自分にしか書けない”テーマをさがします。課題—エッセイ(自由)を書く

▶第2回 11/11 『エッセイ—自由テーマ』

普段の生活の中でふと目にとまったもの、気になるものなどをテーマに、自由にエッセイを書きます。自分のこだわっているもの、感情や考え方のクセが見えてくるかもしれません。課題—エッセイ(社会時評)を書く

▶第3回 11/25 『エッセイ—社会問題に絡めて書く』

世の中で話題になっていたり、問題になっている社会的な出来事について、分析して評論文を書きます。自分の主張を相手に伝えるためには、その根拠を提示する必要があります。課題—書評を書く

▶第4回 12/9 『現在を読む「書評」のあり方』

好きな本(マンガ可)を1冊選り書評を書いてもらいます。本の内容紹介にとどまらず、現在の社会に対する視点を持ちつつ論じること。“読むこと”の大切さも見直します。課題—リライト

▶第5回 1/20 『インタビューのノウハウを知る』

インタビューの段取りやマナー、質問項目の作り方をはじめ、被取材者にいかに迫っていくか、話の引き出し方を具体的事例をもとに伝授。課題—インタビュー質問事項作成

▶第6回 2/3 『長文原稿の構成法』

例文を段落で分け、長文原稿の構成のたて方を解説。“私”という一人称の使い方や自分の考えや体験をうまく読者に伝える方法論を講義。課題—インタビュー原稿作成

▶第7回 2/17 『インタビュー原稿講評』

たとえ同一人物に取材しても記事のまとめ方は様々。テーマの絞り方、視点の違いに注目しながら読み比べます。取材相手の人物像をどう形づくることのできたかを検証。課題—長文構成 ゲストへの質問

▶第8回 3/3 『ゲストトーク』

第一線で活躍中のライター、作家、エッセイスト、編集者等をゲストにむかえます。デビューのきっかけから、仕事の発展のさせ方、著書を仕上げるまでなど、仕事の実際をお話いただきます。課題—長文構成

▶第9回 3/17 『いい企画、悪い企画—ライターになってから』

ライターは、企画を通して仕事をしていくのが基本。採用されるものとされないもののちがいはなにか？どんな企画をたてればいいのか。ライターとして仕事し続けていくためのノウハウを講義。課題—長文原稿

▶第10回 3/31 『「著者」をめざそう』

長文原稿講評。自分の得意とする分野、好きなテーマで単行本をだすことを射程に入れ、出版業界を生き抜く方法や将来の展望を探ります。

◆講師プロフィール

切通理作 文筆家



1964年生まれ。編集者を経て文筆業に。文化・社会批評、エッセイを中心に新聞や論壇誌等で活躍。著書にサントリー学芸賞を受賞した『宮崎駿の〈世界〉』、『ポップカルチャー 若者の世紀』『日本風景論』『ある朝、セカイは死んでいた』『山田洋次の〈セカイ〉』『失恋論』『情緒論』など。近著に『本多猪四郎 無冠の巨匠』、原田昌樹監督との共著『少年宇宙人 平成ウルトラマン監督原田昌樹と映像の職人たち』。共著も多数。



「評論・ノンフィクションを書く」修了生向けのアドバンスクラス「ノンフィクションゼミ」あり。

文章のトレーニングをしたい方、売り込み用の文章をつくりたい方のための講座。
月1回土曜日 16:00～18:00 実施。

募集時期に対象者宛にメールでお知らせします。

*やむを得ぬ事情により、日程・内容が変更になることがあります。